



# みんな なかよく げんきに のびよう

三つの宝「**う**つくくまわりを **え**がおであいさつを **き**ちんとくつならべ」

令和4年度第37号  
熊本市立植木小学校  
令和5年1月18日  
文責：校長清田浩文

## ゲーム・スマホについて考えましょう！

休みの日に何をしているか？どんなことが楽しみか？ということ子どもたちに尋ねると、かなりの数の子どもたちが「ゲーム！」と答えます。しかし、安易にゲームをやり続けることは、危険な要素をはらんでいるということに気づいてもらいたいと思います。

◇国立病院機構久里浜医療センター樋口名誉委員長の話より

- スマホやパソコンなどで様々なオンラインゲームができるが、子どものトラブルが増加している。特に「ガチャ」と呼ばれる一種のくじ引きがやめられず、高額の支払いが生じたり、のめり込み過ぎて治療が必要になったりする子どもが増えている。
- ゲームをしていて、敵を倒す等の課題をクリアするためには、味方のキャラクターやアイテムを「ガチャ」で手に入れる必要がある。
- 1回目の「ガチャ」は無料だが、2回目以降は有料で、クレジットカードやプリペイドカード、決済サービス等を登録する「課金」の仕組みを使う必要がある。一度登録すれば、スマホのボタン一つで簡単に支払いができ、キャラクターやアイテムが入手できる。
- 最初は無料や少額でも、外れて「次こそは」と続けていると、支払いがかさんでいることも多い。いわゆる「ガチャ沼」「課金沼」から抜け出せなくなる。自分の欲望を抑えきれなくなり、治療が必要になれケースもある。
- 親が課金を出し渋ったり断ったりすると、物を壊したり、暴力をふるったりする児童生徒が少なくない。
- 「ガチャ」はギャンブル的な要素が強く、ゲームへの依存性を高める原因になっている。
- 支払いが月に10万円を超えるケースも、今では珍しくない。
- 親は子どものゲームの実態を詳しく把握しておく必要がある。ゲームをして静かに過ごしているから何も注意しないという保護者は、我が子が本当に大丈夫なのか、理解しているのだろうか？

◇ 読後の感想を親子で出し合ってみてください。よろしくお願いいたします。

学校教育目標 気づき・考え・行動する、自立と共生の力を備えた子どもの育成  
～出会いと出番と対話のある学校を目指して～